

● 事業所自己評価結果（公表日 2025年3月29日）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	●：主な意見 ☆：工夫ポイント / ★：改善ポイントや課題
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5	1	●スペースが狭いと感じる ☆当事業所の指導訓練室は約43平米と、国の設置基準である3平米／児童以上を確保し、集団活動がおこなえるように死角のない、指導員の目が届く1つの空間で療育を行っております。 ☆教室外活動の適時実施により、よりのびのびとした形での療育に今後も取り組んでまいります。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	5	2	●基準は満たしているが支援には不足していると感じられる時がある ☆児童10名に対し指導員2名という国の人員配置基準以上の人員配置を常に行い、保育士、社会福祉士、幼稚園教諭免許取得者、など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフを配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	6	1	☆正面玄関は約6cm程度の段差があり、完全なバリアフリー化の実現はできていないのが現状。必要に応じて職員が補助し、より安全に配慮する。☆トイレは約4平米のユニバーサルトイレとなっており、車いすのままでの利用も可能。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	0	☆PDCAサイクルを心がけ、月1回の職員会議にて現状把握や課題の抽出、業務の見直しを図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	0	☆当施設利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、保護者様等の意向を把握するとともに改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	2	★当施設のホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	☆現在は利用者と社内評価のみ。 ★第三者による外部評価については今後の検討課題とする
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	1	☆適時職員による勉強会を実施 ★更なる質の向上を図るため、外部業者によるWeb研修の導入を実施（2024年11月～）
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	☆ご利用開始に向けた見学等の際、保護者面談を実施してニーズを把握するとともに行動観察を実施して個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	0	★標準化されたアセスメントツールの選定・使用について今後検討する
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	★チームによる活動プログラムの立案が十分ではない（担当者1名のアイデアをそのまま採用することも多い）ことから、チームによる立案にむけた仕組化を実施する
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	1	☆これまで実施してきた活動プログラムをまとめ、可視化することで固定化の抑止に努めている ☆音楽、運動、工作など様々なテーマで活動を設定している。また、内容は各利用者様の特性や発達に応じて変化をつけている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	7	0	☆外部施設の見学・利用を積極的に取り込むことで、社会との接点を増やすことに特に重点的に取り組むなど、利用者の特性に応じた課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	☆利用者1人一人の発達に応じて個別の課題や集団適応等への取り組み課題を支援計画に入れている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	1	●役割分担のわりふりが十分でない事がある ☆実施前に職員間でその日の支援内容について確認実施 ★イレギュラーの予定が発生した際に共有が十分でないこともあり、その際の確認・共有方法が今後の課題
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	1	●翌日に振り返りを実施している ☆実施後に職員間でその日の支援内容について振り返り実施 ★イレギュラーの予定が発生した際に共有が十分でないこともあり、その際の確認・共有方法が今後の課題
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	☆連絡帳や支援記録の内容確認を定期的実施し、必要に応じて改善ポイントを職員に共有
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	☆6カ月以内に1度見直しを実施している	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	5	0	☆ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記し、その内容に基づいて支援を実施している	

2024年度（令和6年度）わいわいきっず鶴ヶ島松ヶ丘教室



	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	☆：工夫ポイント ★：改善ポイントや課題
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	☆開催時には児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選出して出席。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	1	●年間計画を見る機会がない／限られる ☆開催時には児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選出して出席。 ★一部職員だけでなく、全職員に共有を図る機会を設ける
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1	●受け入れを現在は実施していない ☆受け入れ時は必要に応じて連携について保護者と相談しながら実施 ☆相談事業所等との連携を図り、利用計画等で情報共有を実施
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	1	☆移行先や保護者の要望に応じて情報提供を実施
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	2	★対象者が現時点でいないため、提供情報内容の詳細については今後検討実施
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2	●より積極的に受講の機会を設けた方がいいと考える ★県等の主催する研修会への参加について今後検討
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	1	●今後やるべきと考える ★事業所として児童館等との交流活動等の実績はない ☆利用者さまが療育と通園・通学を平行してできるように日程を調整したり、保護者の希望で通園先との連携等を実施
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	●もし参加していないのであれば（児発管に）参加してほしい ★参加実績なし。今後参加を検討（障害福祉サービス事業者連絡会、要保護児童対策地域協議会等）
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	☆送迎時、あるいは家庭連携を目的とした週1回のご家庭との定期ミーティングを通じて共通理解を図っている
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	★「ペアレントトレーニング」と銘打ったプログラムの実施はないが、次年度の実施を検討する。 ☆面談や送迎時のフィードバックの才、対応のアドバイスを伝えられるように心がけている。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	2	☆契約時に説明を実施するとともに、保護者からの質問・疑問点について職員から説明を実施
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3	0	☆希望に応じて相談を受け付けている。また、定期モニタリング時に相談の時間を設けている
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	5	●やったほうが良いと考える ★保護者同士の交流の方法並びに内容については現在検討中
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3	0	●誰がやるべきか？を具体的に考えたい ☆相談並びに苦情体制に関するご案内に努めていくとともに、より良い方法を検討していく
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	6	0	☆お便りやホームページでの情報発信に今後も努めていく
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	5	1	1	☆個人情報記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管 ☆書類から職員が離れた場合は、役職問わず気づいた職員がその場で注意／声掛けを実施
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3	0	☆耳が聞こえない利用者さんとの円滑な意思疎通をめざして職員有志により、手話サークルへの参加を実施。
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	0	6	★お祭りや発表会のような行事を設けていないため、地域住民が直接的に活動内容を知る機会がない ☆施設外での屋外活動を通じて地域住民と接する機会を創出

2024年度（令和6年度）わいわいきっず鶴ヶ島松ヶ丘教室

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	☆：工夫ポイント ★：改善ポイントや課題
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	1	☆マニュアルについて職員会議等について対応方法等の確認を実施 ★保護者への説明が十分でないことから今後の改善課題とする
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	0	☆職員の訓練を2024年1月に実施 ★消防署立ち合いの訓練を今後検討。 ★児童・保護者を含めた訓練の実施が今後の検討課題
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	1	☆県からの通知や外部のニュース報道等の機会をとらえて職員同士で意見を出す機会を設けている ★外部研修への参加をより積極的に実施するよう検討する
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	☆県からの通知や外部のニュース報道等の機会をとらえて職員同士で意見を出す機会を設けている ★外部研修への参加をより積極的に実施するよう検討する
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	☆アレルギー対象が特に多い利用者についてはおやつを持参するよう依頼 ☆必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めに保護者と実施
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	☆危険な事例があった場合、報告書に記載するとともに日々のミーティングを通して職員間で共有実施